

風力発電と安全保障の両立に向けて



防衛省
MINISTRY OF DEFENSE

詳しくはこちら



防衛省公式HP

防衛省 風力発電

検索

自衛隊は、我が国を防衛することが主な任務であり、有事に備えて平素から警戒監視や訓練といった多様な活動を行っています。また、在日米軍も、我が国の防衛と地域の平和と安全のため、平素から日本国内で訓練など各種活動を行っています。

これらの平素からの活動なくして我が国の平和と安全を全うすることは不可能です。

この点、1基当たり陸上では百数十メートル、海上では二百数十メートルに及ぶ風車群が設置される風力発電は、自衛隊や在日米軍の活動に大きな影響を及ぼす可能性があります。

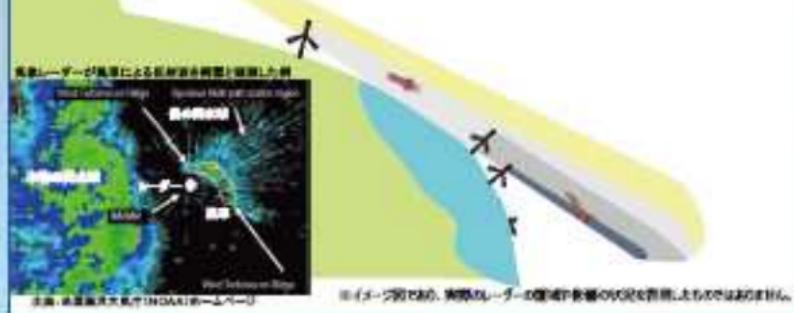


01 風力発電設備によるレーダーへの影響

防衛省・自衛隊では、警戒管制レーダー、航空管制レーダー、気象レーダーなどの様々なレーダーを使用しています。レーダーは、物体から反射された電波を受信することでその物体の位置を特定しますが、航空機やミサイルといった小さい物体からの微弱な反射波は、風車からの大きく強い反射波に埋もれてしまい、目標の探知や追尾に支障をきたすことがあります。

風車がレーダー電波を反射することにより、目標（航空機、ミサイル、雲等）の正確な探知が困難になり、警戒監視活動や部隊による迅速・適切な対応、航空機の安全な運航に支障をきたすことがあります。

（特に警戒管制レーダーについては、レーダーの標高や風車の高さによっては、100km以上離れた場所でも影響が生じる可能性もあります）



◆警戒管制レーダー

自衛隊は、我が国に飛来する外国の航空機やミサイルなどを発見・対処するため、周辺空域を全国28か所の警戒管制レーダー等によって常時監視しています。緊急発進回数は近年高い水準で推移しており、また、弾道ミサイルや高速化・長射程化した巡航ミサイル、小型無人機など、空からの脅威の種類は複雑化・多様化の一途を辿っています。

空からの脅威を可能な限り早く探知して自衛隊の部隊による対応を行うためには、警戒管制レーダーが十分な機能を發揮することが必要不可欠です。

しかし、風車からの反射波の影響によりレーダーの探知能力が低下すると、飛来する航空機やミサイルなどを早期かつ正確に探知・捕捉し、自衛隊の部隊が対処することが困難となるおそれがあります。

警戒管制レーダー配置図



◆気象レーダー

風車からの反射波の影響により気象レーダーの観測能力が低下すると、飛行場周辺の雨雲や雷雲の状況を正確に把握することができず、航空機の安全な運航が困難となるおそれがあります。

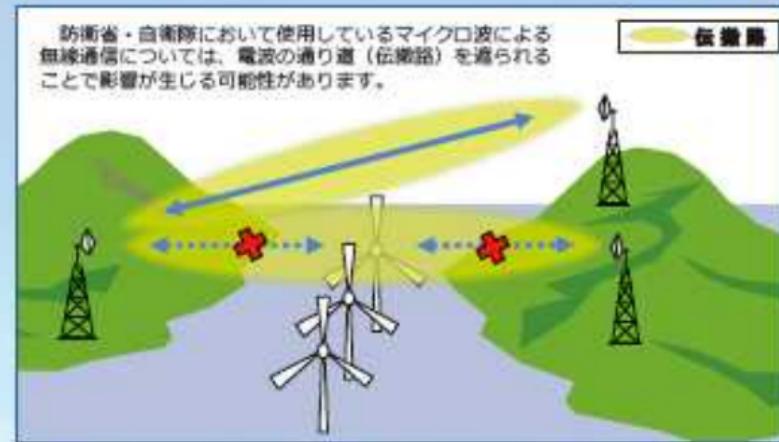
気象レーダー配置図



気象レーダー

02 風力発電設備による通信等への影響

自衛隊の駐屯地・基地間で行うマイクロ波等を用いた無線通信の電波の通り道(伝搬路)を遮る形で風車が建設されると、電波の伝搬に障害が発生し、通信ができなくなるおそれがあります。

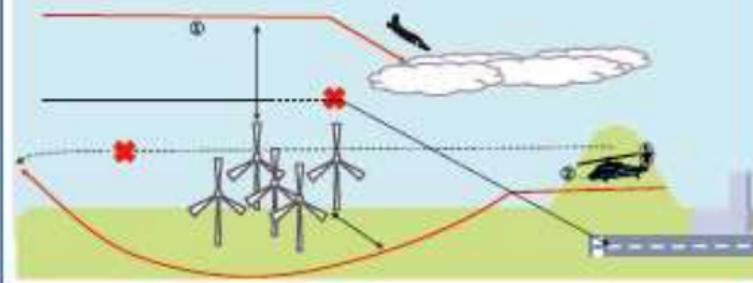


03 風力発電設備によるその他の影響

その他に風車が安全保障に及ぼす影響として

- ミサイルや艦船などの性能に問題がないかなどを確認する試験への影響
 - 射爆撃などの訓練への影響
 - 航空機の運航への影響
- などがあります。

- ① 風車との安全な距離を保つために飛行場へ進入する際の高度が高くなると、気象の影響を受けやすくなり、飛行場の利用に制約が生じるおそれがあります。
② 風車群を迂回するために、救難ヘリによる傷病者の救出・搬送等に時間を要するおそれがあります。



在日米軍についても、自衛隊への影響と同じような影響が生じる可能性があります。

安全保障への影響を回避するための取組

- 自衛隊・米軍の円滑な運用の確保と風力発電の導入促進の両者を両立するため、防衛省では風車の建設・建て替えを計画される風力発電関係者の皆様に、事業計画策定の可能な限り早期の段階での防衛省への事前相談をお願いしています。
- 安全保障への影響の分析・評価を行った結果、安全保障への影響があると認められた場合、例えば航空機の運航に影響が見込まれる場合には、飛行経路の変更等、自衛隊・米軍の部隊運用上の調整によって影響を回避できないか、検討や調整を行います。
影響を回避するための措置を講じた上でもなお自衛隊や米軍の任務遂行に支障が生じるおそれがある場合には、風力発電関係者の皆様に風車の配置や高さの変更をお願いしています。
- 安全保障への影響の正確な分析・評価には一定の時間を要しますが、風力発電関係者の皆様が円滑に事業を進められるためには、計画中の事業が安全保障へ影響を与えるのかどうかを可能な限り早期に確定させることが非常に重要と考えていますので、可能な限り速やかに、安全保障への影響について初期的な回答をしています。



2050年までのカーボンニュートラルの実現に向けて、温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーは我が国にとって重要なエネルギー資源です。また、昨今の国際情勢を踏まえ、エネルギー安全保障の観点からも、エネルギー自給率の維持・向上に寄与する風力発電の導入促進が期待されています。

我が国の安全保障環境が一層厳しさを増している中、防衛省・自衛隊としては、自衛隊・米軍の円滑な運用の確保と風力発電の導入促進という、ともに重要な政策課題の両立に取り組んでまいります。

詳しくは、防衛省のホームページをご覧下さい。

<https://www.mod.go.jp/j/approach/chouwa/windpower/index.html>

